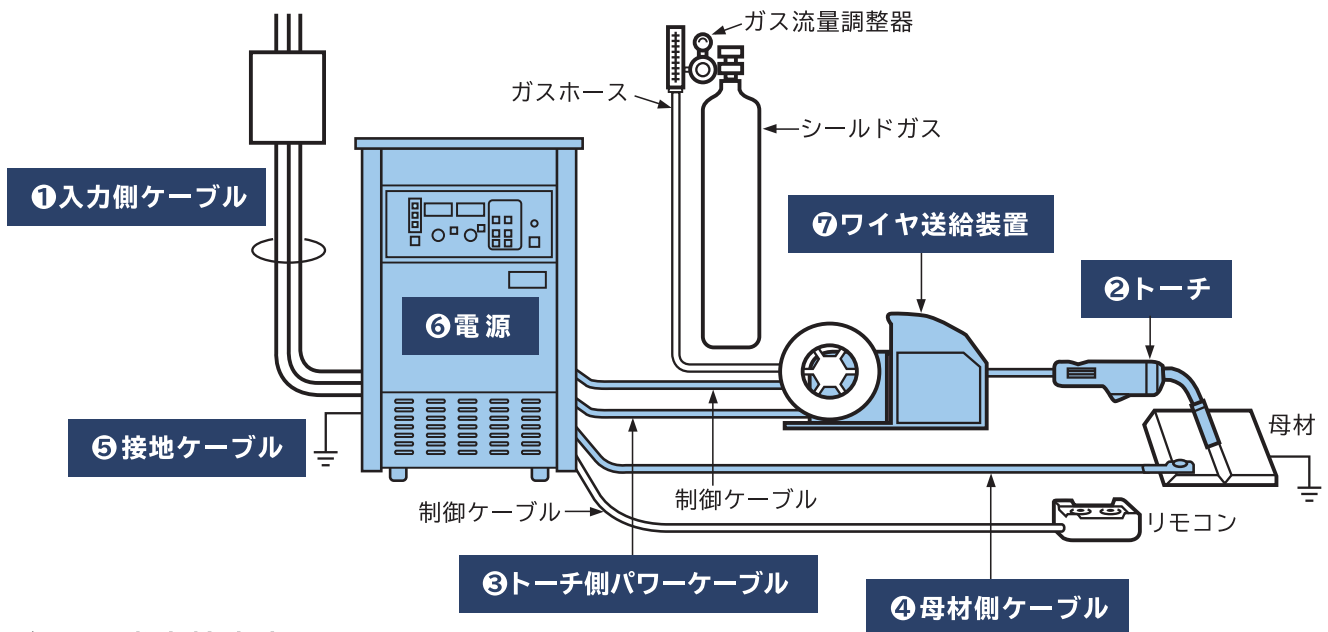


火災・感電・故障防止のために 日常点検・定期点検を行いましょう。

日頃の点検で、大切な生命と財産を守ることができます。



■主な日常点検内容

点検箇所	点検内容	点検しないと
①入力側ケーブル ②トーチ ③トーチ側パワーケーブル ④母材側ケーブル	<ul style="list-style-type: none"> ・ケーブルの接続部に緩みや異常発熱がないか。 ・ケーブルに断線や損傷がないか。 	火災/故障/溶接不良の原因となります。
⑤接地ケーブル	<ul style="list-style-type: none"> ・電源の接地ケーブルが確実に接地されているか。 	感電/故障/誤動作の原因となります。
⑥電源	<ul style="list-style-type: none"> ・樹脂部にクラックや破損がないか。 ・内部から異常な振動やうなり、臭いがないか。 ・冷却ファンが円滑に回転しているか。 	火災/感電/故障の原因となります。
⑦ワイヤ送給装置	<ul style="list-style-type: none"> ・フレームやカバーにクラックや破損がないか。 ・内部から異常な振動やうなり、臭いがないか。 	火災/感電/故障の原因となります。

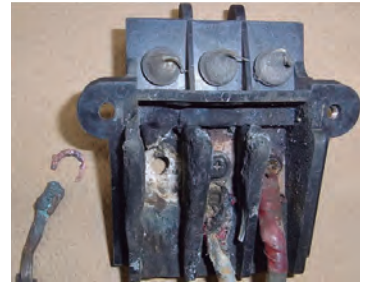
※ 3～6か月毎に電源や送給装置内部の粉塵や埃を、湿気のない圧縮空気を吹き付けて除去してください。

※ 日常点検・定期点検の詳細は各製品の取扱説明書をご確認ください。

点検不備が原因の故障事例

① 入力端子の焼損

入力端子の締付不良により入力端子が焼損。
日常点検で入力側ケーブルの接続に緩みがないかを
必ず確認してください。



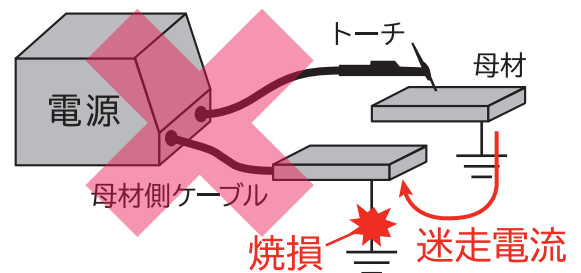
②③④ 出力端子の焼損

出力端子の締付不良により出力端子が焼損。
日常点検でトーチ側ケーブル、母材側ケーブルの
接続に緩みがないかを必ず確認してください。



④ 迷走電流による焼損

母材側ケーブルが母材に正しく接続
されていなかったため迷走電流が流れ、
接地ケーブルが焼損。



母材側ケーブルが正しく接続されていないと予期せぬ所に迷走電流が流れ、
その経路に細いケーブル等があると焼損し火災の原因となります。日常点検
で母材側ケーブルが母材に正しく接続されていることを必ず確認してください。

電源内部の粉塵により焼損

電源内部に大量の粉塵が堆積することで
トランス等の高電圧帯電部品の絶縁が
破壊されて焼損。

3～6か月毎に電源や送給装置内部の清掃を
行ってください。

